

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0101	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	企画部 健康都市推進室		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	全ての市民	人とまちの健康をまちづくりの中心に据え、従来の保健・医療分野に限らず、環境、教育、基盤整備などの行政における各分野が連携して、市民と協働で健康都市を築いていく。 「健康都市 尾張旭」の実現に向け、尾張旭市健康都市プログラム(平成26年3月改訂)に基づき、関連事業を連携して一体的な推進を継続する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか) 市民の健康をまち全体で支えていく取組(健康都市プログラム)が実践されている。	健康都市プログラムの推進のため、下記事項を実施する。 「リーディングプラン」に沿った事業の展開 健康都市の取組の積極的なPR 「健康都市連合」に係る事業の実施 「健康都市連合日本支部」に係る事業の実施 事業者、市民活動団体、学校等対象の健康都市づくり事業の実施 健康都市連合日本支部大会への参加 健康都市連合国際大会への参加(隔年実施) 健康都市連合理事会への参加 SDGs(持続可能な開発目標)に関する取組

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 健康マイスターの対象事業数	事業	183	208	190	254	
	B 健康都市連合に関するイベント・打合せの参加日数	日	21	20	20	3	
成果指標	C 本市が「健康都市」を目指していることを知っている市民割合	%	73.6	75.3	75	-	
	D 自ら健康づくりに取り組んでいる市民割合	%	60.7	62.3	61	-	
事業費 計			4,668	3,819	4,915	2,120	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		174	403	200	
		オ 一般		4,494	3,416	4,715	2,120

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>	(状況) R2はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得。
--------	--	---------------------------------

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	健康都市連合国際大会への参加と合わせて、健康都市及びSDGsの取組み方針について検討を行います。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

新型コロナウイルス感染症により国際大会が延期され、健康都市連合及び健康都市韓国支部が共催のオンライン健康都市連合国際フォーラムに参加した。SDGsと関連しているあさひ健康マイスター事業にある、新型コロナウイルス感染症の予防をしながら取り組む健康づくりについて、国内外へ発表した。

健康の日事業

[6]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0102	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	企画部 健康都市推進室	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	全ての市民	4月29日「尾張旭市 健康の日」に「あさひ健康フェスタ」を開催し、健康都市づくり(人の健康、まちの健康)の各種事業を通して、市民の健康意識をさらに高め、市民自ら健康づくりに取り組む機会を提供し、市を挙げて「健康都市」を発信する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><あさひ健康フェスタ実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康まつり ・あさひペースマイルウォーキング ・健康関連ブース ・楽農まつり <p>【結果】 新型コロナウイルス感染拡大の状況により中止</p>
	市民一人ひとりが自身の健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりに取り組んでいる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 「健康の日」に実施した事業数	件	54	55	60	2
	B					
成果指標	C 「健康の日」に実施した事業への参加者数	人	3,922	3,885	4,000	0
	D					
事業費 計			1,849	1,566	3,450	450
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				500
		オ 一般		1,849	1,566	2,950

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)あさひ健康フェスタを中止し(参加者は0名)、その代わりとして、市ホームページに「こんな時でもできる健康づくりのヒント」を掲載。また、「わたしの元気のヒケツ」と題して、市民の健康習慣を募集した。44件あった応募内容を市ホームページに掲載し、市役所1階ロビー等にも展示することでより多くの市民に健康づくりについて啓発できた。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大の状況により、あさひ健康フェスタを中止したため、市民の健康づくりのサポートとなる代替事業を実施した。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	市制50周年に際し、あさひ健康フェスタの参加者の拡大に向けて、実施内容を見直します。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-
新型コロナウイルス感染拡大の状況により、あさひ健康フェスタを中止した。			

保健・健康推進事業審議事務

[1]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0103	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	尾張旭市健康推進委員会条例に基づく委員会で、14名の委員をもって構成する。 ・任期：2年、委員構成 14名(学識経験者(4名)：瀬戸保健所、旭労災病院、公立陶生病院、大学、各種団体(8名)：瀬戸旭医師会、尾張旭市歯科医師会、尾張旭市薬剤師会、自治連合協議会、地域婦人団体連絡協議会、体育協会、健康づくり食生活改善協議会、愛知県健康づくりリーダー連絡協議会瀬戸支部、市民公募(2名)) (内容) 本市の健康推進事業に関することを審議する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
本市が取り組む健康推進事業が効果的かつ円滑に実施できるよう審議されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 委員会開催数	回	1	1	3	3	
	B 委員会にて審議されたことにより健康推進事業が円滑に実施できた事業数			1	1	1	
成果指標	C						
	D						
事業費 計		千円	64	64	231	116	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般	64	64	231	116	

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	
	【成果指標の状況】 未設定	
	【成果向上余地】 未設定	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

市民総元気まる事業

[3]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0104	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><元気まる測定> 生活習慣病予防のため、元気まる測定を受検する市民が増加している。</p> <p><あたまの元気まる> 認知症予防のため、あたまの元気まる測定を受検する市民が増加している。</p>	<p>【事業内容】</p> <p><元気まる測定(18歳以上の市民)> 元気まる測定(保健福祉センター)、出張元気まる測定(出前講座)、問診のみ「元気まる測定」の内容 問診、体力測定(省略有)、健康づくりのアドバイス(健康教育・実技指導等)、健康相談の実施、受検結果に応じ保健指導を実施 ネットDE元気まる(インターネット版簡易元気まる測定) 「元気まる測定」の問診項目を簡易化。心の健康度チェック「こころの天気予報」現在使用停止中。 運動教室：元気まる測定を一年以内に受検した人を対象に運動習慣を身につける教室(R2年度開始)</p> <p><あたまの元気まる(40歳以上で要介護・要支援認定を受けていない市民)> ・インターネットを使う軽度認知障がいチェックテストを実施(H25.5.20開始) 軽度認知障がいの段階の認知機能の低下を発見し、保健指導等で正しい生活習慣などから認知症予防実践へ導く・保健福祉センターにて週2回実施。その他に健康まつり、市民祭、出前講座でも実施。 平成29年度より、介護予防把握事業に位置づく。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 元気まる測定、あたまの元気まる実施回数(出前含む)	回数	172	143	180	118	
	B 元気まる測定、あたまの元気まるの出前による実施回数	回数	54	45	55	25	
	成果指標	C 元気まる測定、あたまの元気まるの受検人員数	人	1,588	1,541	1,800	963
		D 元気まる再検者で結果が維持・向上した人員割合	%	70.3	69.4	75	80.5
事業費 計			4,667	4,578	5,026	4,362	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	135	146	121	153
		ウ 地方債					
		エ その他		2,333	2,288	2,420	2,180
		オ 一般		2,199	2,144	2,485	2,029

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 成果指標C：受検人員数が年々下がっている。成果指標D：元気まる再受検者で結果が維持・向上した人員割合が上昇した。</p> <p>(原因) 成果指標C：令和2年度はコロナウイルスの影響で、一般元気まる、出前講座の申し込みが減少したことが要因となっている。</p> <p>成果指標D：令和2年度は全受検者のうち、出前講座や一般元気まるの受検者が減少し、健康づくり教室参加者の割合が多かったことが要因となっている。</p>
--------	---	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

生活習慣病予防事業

[4]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0105	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	<p>教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉センターで18歳以上の市民に対して、以下の教室を実施。講義や実技を通して健康づくりのポイントを学ぶ。 ・参加者の募集は、ポスター・チラシの掲示、広報尾張あさひ、個別案内を中心に行う。 <p><メニュー></p> <ul style="list-style-type: none"> ちよいやせ道場：定員12名×12回×1コース 骨コツヘルスアップ教室：定員12名×6回×1コース 知って得する！健康プラス教室：定員12名×6回×1コース STOP！糖尿病：定員12名×7回×1コース ヤングのうちから健康みつめ隊：定員12名×3回×1コース <p>R2・3年度は、新型コロナウイルスの影響により定員を削減して開催。</p> <p><スタッフ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師、運動指導員、健康づくりリーダー、医師、管理栄養士、歯科衛生士など <p>特定保健指導</p> <p>保険医療課の事務処理後、積極的支援該当者に利用券・案内が送付される。教室や保健指導を利用しない方に対して、随時訪問や電話勧奨・保健指導を実施する。</p> <p>生活習慣病保健指導事業(11-0203)では、健康づくり教室事業(11-0105)への参加勧奨を実施しているため、事務の簡素化を図る目的で、平成31年度より二つの事業を整理・統合する。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	健康づくり教室や保健指導を通じて、健康的な生活習慣について正しく理解し、実践する市民が増加している。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 教室開催回数	回	39	31	36	31	
	B 教室参加人数(述べ人数)	人	403	422	420	412	
成果指標	C 健康的な生活習慣を理解し実践しようと思った参加者割合	%	100	100	100	100	
	D 健康づくり教室が役に立ったと思う参加者の割合	%	100	100	100	100	
事業費 計			1,877	4,548	1,014	873	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	507	508	314	455
		ウ 地方債					
		エ その他		15	19	39	
		オ 一般		1,355	4,021	661	418

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>状況 成果指標はC、Dともに100%を維持。</p> <p>原因 新型コロナウイルス流行により、教室参加人数はやや減少したが、参加者の健康づくりには役立っていると考え。</p>
--------	---	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

健康増進普及啓発事業

[5]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0106	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>80歳以上の市民</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>80歳以上で自分の歯を20本以上有する市民が増加している。</p>	<p>8020運動</p> <p><内容> 80歳になっても自分の歯が20本以上残るよう、日ごろから歯科保健を意識していただき、歯を残すとともに健康に過ごしてもらおう事を目的とした国民的運動</p> <p><対象者> 80歳以上で自分の歯が20本以上ある者(以前表彰されていないかた)</p> <p><参考></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医療機関より推薦していただき、表彰対象者となる。 ・表彰対象者となったかたには表彰式の通知を出し、表彰式にて表彰する。 ・内容は、市長あいさつ、来賓祝辞、表彰状の授与等 ・当日、表彰対象者に歯の健康管理等を聞き、広報、各種健康づくり教室等で市民にPRする。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 8020運動達成者	人	120	93	140	122
	B 8020運動表彰式	回	1	1	1	1
成果指標	C 8020運動達成者の割合	%	1.9	1.5	2	1.9
	D					
事業費 計			344	344	402	239
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	344	344	402

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 達成者(表彰者)は年々増加傾向となっている。</p> <p>(原因) 歯の健康寿命の延伸と高齢者の人口が増えていることが要因である。</p>
--------	---	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

健康づくり推進員による健康増進普及事業

[7]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0107	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進員の養成及び育成 市民から健康づくり推進員を募集し、健康づくりに必要な知識・技術の習得のため、養成講座を実施(平成16年度、19年度、23年度、27年度、令和2年度) 健康増進普及 3つの活動の柱を設定し、市と協働して健康づくり事業の実施及び推進を行い、市民が健康づくりに取り組む機会を増やす。 <3つの活動の柱> 「筋トレ」:らくらく筋トレ教室にスタッフとして参加、自主活動の支援 「ウォーキング」:定例ウォーキング開催、効果的な準備体操の検討 「笑いと健康」:笑いを取り入れた健康体操等の普及 定例会の開催 月1回開催し、具体的な活動内容等について検討。 その他、健康講座を年1回開催。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			
	健康づくり推進員の人数及び活動機会が増加し、市と協働して健康づくりを推進・普及することができる。			

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 健康づくり推進員養成講座・育成研修・健康講座の開催日数	日	5	5	11	7
	B 健康増進普及事業に関する推進員の活動日数(役員会、定例会、定例ウォーキング等計上。らくらく筋トレは含まず)	日	52	45	55	35
	成果指標 C 健康づくり推進員の養成・育成人数(実人員)	人	30	30	45	36
	D 健康増進事業等に主体的に関わった健康づくり推進員の割合	%	100.0	96.7	100	89.7
事業費 計			147	221	345	134
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		147	221	345

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 遅延あり	(状況) 指標全てにおいて低下した。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、定例会をはじめ健康づくり推進員が主催する定例ウォーキングの中止などが影響している。その中でも、養成講座を開催することができ、今後、地域のリーダーとして活動していくことが期待される。また、今までの市との活動が評価され、「第9回健康寿命を延ばそう!アワード」において、スポーツ庁長官優秀賞を受賞した。地域の健康づくりリーダーとしての活動が定着していると評価できる。
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

筋力トレーニング事業

[1126]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0108	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	40歳以上の市民	<p><らくらく筋トレ体操></p> <p>1 地区集会所等を会場とし、「らくらく筋トレ教室」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手足に巻くおもりをつけ、椅子を使用した筋力トレーニングを行う。 ・週1回、12回1コース(教室前後の元気まる測定を含む) ・保健師、運動指導員、看護師、健康づくり推進員他、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士も健康教育スタッフとして従事。 <p>2 教室終了後も自主活動グループとして継続できるよう、健康づくり推進員とともに支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な元気まる測定の受検勧奨 ・研修や講習会等の案内 <p>ぴんぴんフィットネスクラブは、平成28年度末で事業廃止 平成29年度より、地域介護予防活動支援事業に位置づく</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 筋力トレーニング事業参加者数(実参加者数)	人	59	437	1,440	1,666	
	B 筋トレ自主活動グループ数(教室終了後に自主グループとなった以外のグループも含む)	箇所	65	64	67	66	
	C 参加者の中で筋トレの効果を実感している人の割合	%	90	100	95	80	
	D 自主活動での筋トレ参加者(実参加者数)	人	1,503	1,500	1,400	1,600	
事業費 計			322	306	344	1,238	
成果・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		161	152	172	121
		オ 一般		161	154	172	1,117

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり	<p>状況</p> <p>成果指標Cは、令和元年実績に比べ20ポイント低下。 成果指標Dは、令和元年実績に比べ100人増加。</p> <p>原因</p> <p>成果指標Cについては、新型コロナウイルス流行により、後期の教室しか実施できず、アンケート回収率が低かったためと考えられる。 成果指標Dについては、後期らくらく筋トレ教室や自主グループへの新規加入者により増加。</p>
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	令和2年度は、コロナウイルスの影響で一時的に活動休止になったグループもあり、活動再開時に環境調整や保健指導に各グループに出向いた。また、活動休止になった際に自宅で筋トレが継続できるよう「自宅用らくらく筋トレ体操DVD」を作成し筋トレ参加者や希望者に配布した。		

健康相談事業

[10]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0201	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康相談・保健指導の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	健康相談 <内容> 保健師による健康相談 <開催場所・日時・回数> 健康課窓口での相談や電話相談を毎日午前中(2時間)開催する 精神保健福祉相談・・・福祉課へ移管、場所は保健福祉センター <内容> 精神保健福祉士による精神保健福祉相談(予約制) <開催場所・日時・回数> 健康課での来所相談や電話相談。毎週水曜日(定員4名)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	栄養相談 <内容> 管理栄養士による栄養相談(予約制) <開催場所・日時・回数> 健康課での来所相談や電話相談。毎月第4金曜日 労務相談 <内容> 労務職員を対象に行う健康相談(保健師) <開催場所・日時・回数> 健康課で健康相談・血圧測定。毎月第3金曜日
	必要時に相談し、支援を受けることができる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 相談開催回数(市役所開庁日+精神福祉相談日報枚数+栄養相談回数)	回	305	303	300	293
	B					
成果指標	C 相談延件数	人	2,154	1,974	2,000	1,829
	D					
事業費 計						
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況)健康相談件数は横ばい。 (原因)相談件数は大幅に減少しているが必要な時期に相談を受ける機会は整っていると考える。
--------	--	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

母子保健指導事業

[11]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0202	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康相談・保健指導の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(妊産婦とその家族及び乳幼児の保護者)	<p><母子健康手帳の交付> 妊娠届出者に対し、窓口にて随時交付、妊娠・出産等に関する知識の普及と相談対応</p> <p><パパママ教室> 妊娠・出産・育児などに対する知識の普及</p> <p><産婦・新生児訪問、未熟児訪問、産後ケア事業> 助産師による家庭訪問、相談・保健指導</p> <p><養育支援訪問事業> 保健師・助産師等の訪問による養育の支援、諸問題の解決・軽減</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><育児健康相談> 窓口や電話及び家庭訪問などによる相談対応</p> <p><妊産婦栄養教室> 妊娠期から健康に留意した食生活に取り組むための知識の普及</p> <p><離乳食教室> 離乳食についての知識の普及</p> <p><健診事後指導教室> 親子遊びや専門職を交えた座談会等を通しての健全な母子育成の支援</p> <p><利用者支援事業> 妊娠期から出産、育児の切れ目ない相談・支援の継続(母子保健コーディネーター(助産師2名・保健師1名雇用))</p>
	妊産・出産・育児などに対する知識の普及や養育・発達等に関する事業の参加者が増加する。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 母子保健指導実施事業数	事業		160	165	99
	B					
成果指標	C 母子保健指導各種教室等年間のべ利用者数	人		3,211	2,500	1,851
	D					
事業費 計			4,605	5,050	2,628	1,621
財源内訳		ア 国	1,634	1,443	170	49
		イ 県	842	1,363	90	49
		ウ 地方債				
		エ その他	19	37	64	
		オ 一般	2,110	2,207	2,304	1,523

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が大きい</p>	<p>(状況)令和元年度から活動指標を変更した。活動指標及び成果指標は、R元実績とR2実績を比較すると、減少している。</p> <p>(原因)活動指標及び成果指標は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業が中止したため、利用者が減少している。</p>
--------	--	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

新型インフルエンザ対策事業（健康課）

[1179]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0204	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	簡易評価	総合戦略
基本事業	02	健康相談・保健指導の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>新型インフルエンザ等の感染症対策</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>感染症発生時の拡大防止に備え、消毒薬等の備蓄が行えている。</p>	<p>新型インフルエンザ等感染症発生時に備え、必要な備蓄品を整えておく。</p> <p><主な備蓄品></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスク：9,000枚(感染症発生時の初動対応用) ・エタノール：40L(500ml×80本) <p><管理方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理のため、年2回に分散して購入する。 ・エタノール等使用期限の近くなった備蓄物品については、消防署で有効利用していく。 <p><検討事項></p> <p>防護服、N95マスク、感染防止用手袋等の備蓄については、消防署と合同で効率的かつ有効に備蓄・管理する方法を検討する。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 備蓄品保有率	%		86.7	100	100
	B					
成果指標	C					
	D					
事業費 計			75	80	66	62
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		75	80	66

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>
--------	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	定期的に連絡調整会議を行い、新型インフルエンザが流行した場合の対策を継続的に検討します。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-
新型コロナウイルス感染症対応のため、新型インフルエンザに関する連絡調整会議が開催されなかった。			

新型コロナウイルス対策事業

[1343]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0205	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	02	健康相談・保健指導の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

		指標名称	単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
指標・事業費	活動指標	A						
		B						
	成果指標	C						
		D						
		事業費 計						
		財源内訳	千円					
				ア 国				
				イ 県				
				ウ 地方債				
				エ その他				
		オ 一般						

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	(状況) (原因)
--------	--	--------------

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	未設定
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

新型コロナウイルスワクチン接種事業

[1357]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0206	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	02	健康相談・保健指導の充実	担当	健康福祉部 ワクチン接種推進室		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(接種対象者)	<実施方法> ・瀬戸旭医師会に委託し、集団接種(渋川福祉センター)または個別接種(接種実施医療機関にて)を実施。 ・対象者に接種券(クーポン券)を送付し、対象者が市コールセンターまたは医療機関で予約をして、接種。 <周知方法> 個人通知、広報、HP等による周知 <その他> ・市新型コロナコールセンターを設置 ・集団接種会場への送迎バス等を検討
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

予防接種を実施し、新型コロナウイルスに対する抵抗力(免疫)をつくり、個人が新型コロナウイルスに感染して発病しない、重症化しない。また、周囲に感染症を拡大させない。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A						
	B						
	成果指標	C					
		D					
事業費 計		千円				27,837	
財源内訳			ア 国				27,837
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般					

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	(状況) (原因)
--------	---	--------------

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	未設定
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

歯科健康診査事業

[13]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業 コード	11-0301	実施 計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合 戦略
基本事業	03	早期発見・予防の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(健康診査対象者)	<p>【成人歯科健康診査】 30歳・40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳を節目健診として、20歳と特定健診結果が積極的支援の者、禁煙外来治療費助成金交付者に対し無料クーポン健診として個別歯科健診を実施。 <実施期間> 節目健診、20歳：6～12月、無料クーポン健診：交付日から1年間 <内容> 歯科健診、保健指導、X線撮影 <自己負担金>(一部免除制度あり) 歯科健診：500円 X線撮影：500円 <周知方法> 市広報誌や個人通知(受診券付)など</p> <p>【妊産婦歯科健康診査】 市内在住の妊産婦に、個別歯科健診を実施。 <実施期間> 母子健康手帳交付日から産後1年以内 <内容> 歯科健診、保健指導 <自己負担金> なし ・母子健康手帳交付時に受診券を配布 各種歯科健康診査は尾張旭市歯科医師会に委託</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	受診者が増加し、歯の健康への関心が高まり、歯周疾患による歯の喪失の予防ができています。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 成人歯科健康診査受診者数	人	1,302	1,269	1,320	1,068	
	B 妊産婦歯科健康診査受診者数	人	261	247	270	277	
成果指標	C 個別歯科健診の受診率(成人歯科健康診査)	%	13.1	13.1	13.9	11.3	
	D 個別歯科健診の受診率(妊産婦歯科健康診査)	%	45.5	41.1	42	45.6	
事業費 計			10,070	10,190	10,864	8,980	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	1,662	1,729	1,804	1,363
		ウ 地方債					
		エ その他		109	96	110	89
		オ 一般		8,299	8,365	8,950	7,528

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p><成人歯科健康診査> 20歳の方を対象に無料クーポンを交付(H29年度～)。受診勧奨ハガキを送付した20.30.40歳の受診率は前年度から上昇した。 感染症の流行による歯科の受診控えにより受診者数が減っている。 <妊産婦歯科健康診査> 受診率が4.5%増加。対象となる妊婦数は減少傾向にあるが、産後1年間は受診可能な健診のため、前年度の受診券交付者が受診することで受診率が増加したものの。</p>
	【成果指標の状況】 低下	
【成果向上余地】 余地が小さい・なし		

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0302	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	03	早期発見・予防の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	健康情報管理システムにより、市民の健康診査情報や予防接種情報等を管理し市民の健康管理及び保健事業の円滑化を図っている。 (情報機器) 健康情報システム：パソコン6台、プリンター1台 (主な業務) 予防接種業務、乳幼児健康診査業務、成人健康診査(がん検診)業務、歯科健康診査等の情報管理 (システム更新) システムの老朽化及びマイナンバーへの連携対応のため、平成28年度に新健康情報システムの構築を行った。新たなパッケージシステムへ移行し、事務の効率化とコスト削減を図った。(平成29年3月稼働)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	市民の健康管理及び統計分析、各保健事業等が適正、円滑に実施されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 保守・運用等委託料	千円		5,709	2,650	3,055	
	B						
成果指標	C						
	D						
事業費 計			3,069	5,709	3,236	3,055	
財源内訳		ア 国		928			
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	3,069	4,781	3,236	3,055

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>	
--------	--	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

予防接種事業

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0304	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	早期発見・予防の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>市民(接種対象者) 乳幼児・児童生徒(A類疾病)の接種対象者は、定期接種実施要領による標準的な接種期間に該当する者とする。 そのため、成果指標が100%を超える場合がある。</p>	<p><実施方法> 瀬戸旭医師会に委託し、BCGは集団接種(保健福祉センターにて)年12回実施。その他は個別接種(接種実施医療機関にて)で実施。要注意者(アレルギー等の持病のある者)は公立陶生病院に委託。 *愛知県広域予防接種:かかりつけ医が県医師会予防接種協力医である場合、県内市町村で接種が実施できる制度。 *償還払い制度:里帰り出産・入院等で県内実施医療機関で接種できない場合、予防接種費用助成金要綱に基づき、定期接種のみ助成金を交付。</p>
	<p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>感染症にかからず拡大しないように予防接種を受ける市民が増加している。</p>	<p><周知方法> 個人通知、広報、HP等による周知 乳幼児健康診査・就学時健康診断時に接種状況の確認と勧奨</p> <p><その他> ・高齢者等肺炎球菌・高齢者インフルエンザ:一部自己負担金あり(令和2年度は高齢者インフルエンザを無償化) ・風しん抗体のない妊娠を希望する女性に風疹ワクチン接種助成:上限5,000円 ・子どもの予防接種スケジュールを管理するモバイルサイト「あさびー予防接種ナビ」を配信 ・ロタワクチンの接種費用の一部助成(R2.7.31生まで):上限6,000円 ・風しん追加的事业:平成31年度からR3年度までの時限措置</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 集団接種回数	回	12	12	12	12
	B 定期予防接種個別接種委託医療機関	個所	94	94	95	98
成果指標	C 乳幼児・児童生徒(A類疾病)の定期予防接種率	%	102.5	97.7	95	102.1
	D 高齢者インフルエンザ(B類疾病)の予防接種率	%		50.6	50	69.8
事業費 計			234,075	234,650	278,492	303,708
財源内訳		ア 国		6,160	9,220	9,542
		イ 県	40	20	65	25
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	234,035	228,470	269,207	294,141

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>【成果指標C】前年度に不足したヒブワクチンの供給量が改善されたことにより、接種率が向上した。また、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、前年度に定期の予防接種を控えていた対象者が、R2年度に接種したことも接種率向上の要因となっている。</p> <p>【成果指標D】高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担額が県の補助事業により全額免除されたことから、接種率が大幅に向上した。</p>
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	×
	新型コロナウイルス感染症の拡大により、子どもの季節性インフルエンザ任意予防接種助成を実施したが、帯状疱疹の任意接種は実施していない。		

がん検診等健康診査事業

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0307	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	早期発見・予防の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>職場等で健診を受ける機会のない市民 40歳以上：肺・胃・大腸・医療保険未加入者の健診、40歳以上隔年女性：乳、20歳以上隔年女性：子宮、50歳以上3歳刻み男性：前立腺、40歳以上5歳刻み及び41歳以上で肝炎検診受診歴なし：肝炎</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>疾病の早期発見・早期治療、健康保持のために、がん検診、健康診査を受診する市民が増加する。</p>	<p>・連絡調整、委託契約：4～5月に、瀬戸市及び瀬戸旭医師会と事前調整し、委託契約を締結。 ・受診券送付：5月末に対象者へ個人通知。 ・健康診査：6月15日～10月に、尾張旭市・瀬戸市の実施医療機関で実施(R2は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止にかかる調整等のため、例年と実施期間を変更することになった)。 ・周知方法：対象者への受診券送付、広報及び全戸配布チラシ等で周知。 ・要精密検査となった者の追跡：精密検査の受診勧奨とともに精密検査結果の追跡調査を実施。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 対象者への受診勧奨通知件数	件		55,184	56,200	55,663	
	B 医療機関及び受診者への精密検査照会回数	回		5	4	4	
	成果指標	C 各種がん検診受診率(平均)	%		29.9	35	30.5
		D 精密検査不検率	%	9.3	0.86	9	11.6
事業費 計			187,821	190,179	204,921	171,905	
財源内訳		ア 国	1,957	2,086	2,086	2,164	
		イ 県	3,330	3,258	4,001	3,025	
		ウ 地方債					
		エ その他	3,982	3,573	5,799	3,315	
		オ 一般	178,552	181,262	193,035	163,401	

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況) 受診率は低下したが、精密検査不検率は向上した。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施時期及び期間の変更をしたが、受診控えがあったことが、受診率の低下の要因と推測される。精密検査不検率の向上は、精密検査医療機関への追跡調査が功を奏したと考えられる。 (余地の選定判断) 検診の精度管理を維持するため、瀬戸旭医師会等との協議をした上で、検診実施体制の整備を図った。また、検診の事後管理として、要精密検査未受診者に対する追跡調査は、例年通り一次健診実施医療機関及び精密検査実施医療機関には結果照会、本人にはアンケートにて受診勧奨を実施した。</p>
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	国の指針改正に基づいた適な検査実施となるよう、引き続き関係団体と協議します。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	新型コロナウイルス感染症の対策をしながら、安全にがん検診をすすめる必要であったため、瀬戸旭医師会等関係機関と協議を重ねた上で、実施期間の延長の協力を得、実施体制を確保することができた。また、例年通りではあるが、国の示す「がん検診のチェックリスト」を参考に実施要領を制定し、実施医療機関には遵守した検診実施を委託した。		

妊婦・乳幼児健康診査事業

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業 コード	11-0401	実施 計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合 戦略	
基本事業	04	母子保健の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(妊婦・乳幼児とその保護者)	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦・乳児(1か月、10か月健診)の医療機関委託の公費負担の受診券(妊婦14枚と子宮がん検診、産婦1枚、乳児2枚)交付。 ・出生届より、子どもの個別管理カードを作成、出生から3歳児までの管理。 ・各健康診査等の対象者に周知(広報、個人通知、保健サービス予定表等)。 ・3か月(医師会に集団健診委託) ・1.6歳、3歳(医師会、歯科医師会に集団健診委託) ・2.3歳(歯科医師会に委託) ・健康教育(成長、育児、口腔ケア)、身体計測、診察、フッ素塗布、個別相談など実施。 ・健康診査結果に応じて事後指導を行なう。 ・必要に応じ、各関係機関(子育て支援センター、児童館、発達センター、ピンポンパン教室、医療機関等)と連絡をとりながら保育、療育指導を行う。 ・未受診者に対し、対面による状況把握に努める。 ・2歳3か月児の歯科健診時に健康相談実施。(H22~) ・6か月児健康診査を健康相談に体制変更。(H23~) ・健康診査の待ち時間に親子のふれあい遊び。(保育士、運動指導士)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	疾病や障害の早期発見、早期対応ができる。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 集団健康診査・健康相談開催回数(3か月, 6か月, 1歳6か月, 3歳児健診、2歳3か月児健康相談)	回	65	58	66	62
	B 健診後追跡者数(要フォロー児数)(延人員)	人	964	926	900	910
成果指標	C 乳幼児健康診査(集団)の受診率	%	97.2	95.9	97	97.1
	D 健康診査の未受診者のうち状況を把握できた割合	%	96.7	86.5	100	86.5
事業費 計			73,862	67,216	76,701	74,976
財源内訳		ア 国	1,700	2,628	1,575	1,948
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	72,162	64,588	75,126	73,028

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)健康診査の受診率、未受診者の把握率は昨年より増加・維持している。 (原因)増加・維持はできているが、小児科診察がない健診の受診率が低い傾向にある。今後、引き続きの受診勧奨や、電話相談や家庭訪問等個別での対応も高い指標向上に努める。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

乳幼児歯科保健事業

[1000]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0402	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	04	母子保健の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>市民(健康診査対象者)</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>正しい知識の普及と乳歯のむし歯の早期発見・早期治療及び永久歯のむし歯予防ができています。</p>	<p>< 歯科健診事業 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 個別歯科健診：6歳児歯科健診 集団歯科健診：1歳6か月児、2歳3か月児、3歳児、4歳児、5歳児歯科健診 <p>内容</p> <p>6歳児：歯科健診、フッ素塗布又はシーラント処置、保健指導 その他：健康教育、歯科健診、フッ素塗布、保健指導</p> <p>周知方法：広報や個人通知、保健サービス予定表などで周知を図る。 6歳児歯科健診は、個人通知とともに受診券を送付</p> <p>・受診期間 6歳児：6歳の誕生日から7歳の誕生日の前日まで受診券有効 その他：保健サービス予定表に沿って実施</p> <p>・集団健診の4歳児、5歳児歯科健康診査及び個別健診の6歳児歯科健康診査は尾張旭市歯科医師会に委託</p> <p>・自己負担金は無し</p> <p>< 保育園、小学校歯みがき指導 > 市内保育園及び小学校で歯みがき指導を行う。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 健康診査開催回数(1.6歳児～6歳児歯科健診総計)	回	55	53	56	62	
	B 乳幼児歯科健康診査の受診者数(1歳6か月、2歳3か月、3歳、4歳、5歳、6歳児年齢別)	人	2,851	2,410	2,900	2,966	
成果指標	C むし歯のある乳幼児割合	%		3.2	65	7.6	
	D むし歯のある6歳児割合(人数)	%		25.5	28	19.9	
事業費 計			5,568	5,192	5,937	6,051	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	5,568	5,192	5,937	6,051

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>むし歯のある者が増加しているが、感染症の影響により集団健診を個別健診にして対応したことにより、受診者数が増え、むし歯のある者も早期発見できたと思われる。</p> <p>6歳児歯科健診では歯科の受診控えがあったため受診率が減少していると思われる。</p>
--------	---	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

ブックスタート事業

[21]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0403	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	母子保健の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(生後6か月の乳児とその保護者)	<p>6~7か月児健康相談の会場(保健福祉センター)にて、待ち時間を利用してボランティア等が乳児とその親に絵本を介して語りかけ、コミュニケーションをとる方法を実演する。絵本を1冊ずつ保護者に無償配布する。</p> <p><事務手順></p> <p>・6~7か月児健康相談：健康相談の待ち時間に絵本を介した親子のふれあいを体験、絵本・手提げ袋の配布。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
絵本を介して子どもとのコミュニケーションを深めようとする親が増加する。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 絵本配布数	冊		537	650	635
	B ブックスタートを受けた組数	組	591	536	650	635
成果指標	C ブックスタートを受けた組の割合	%	95.5	96.6	96	100
	D 本等を介して子どもとのコミュニケーションが増えた乳幼児保護者割合	%			80	83.7
事業費 計			498	532	507	488
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		498	532	507

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>受診率により成果が左右される状況がある。受診率向上のために、未受診者へのフォローを徹底している。</p>
--------	---	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

不妊治療費等補助事業

[1110]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0404	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	母子保健の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(不妊治療を受けた夫婦)	不妊治療補助の相談、受付(100件×30分×2回 100時間) 補助金審査(所得、住民情報、内容チェック)事務(80件×40分 60時間) 交付決定、通知事務(80件×30分 40時間) 支払事務(80件×20分 20時間) 県への助成金交付申請事務(180分×3回 10時間)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
費用の一部を助成することにより、不妊治療の経済的負担の軽減が図られている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 補助金申請件数	件	72	69	80	82	
	B 補助金交付件数	件	72	69	80	82	
成果指標	C 補助金交付者のうち、適正交付された率	%	100	100	100	100	
	D 補助金交付者のうち、母子手帳交付数	件	24	16	20	33	
事業費 計			2,320	2,526	2,600	3,056	
財源内訳		ア 国	千円				
		イ 県		452	508	500	698
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		1,868	2,018	2,100	2,358

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)活動指標A「補助金申請件数」、B「補助金交付件数」ともR元年度実績と比較して13件増加している。成果指標D「母子手帳交付数」はR2実績とR元実績と比較すると17件増加している。 (原因)国の動き(不妊治療の保険適用拡大)や、県が助成する特定不妊治療費の要件緩和(所得制限撤廃)は、市が助成する一般不妊治療の増加にも影響があったものと考えられる。成果指標D「母子手帳の交付件数交付割合」の結果を見ると、不妊治療の効果には個人差はあるものの、不妊治療が成功した夫婦が増加している。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	新たな手法で制度を周知します。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	×
国・県の不妊治療費助成制度の緩和策に伴う市での対応もあり、周知方法の検討を進めることができなかった。しかしながら、国・県が特定不妊治療の保険適用の検討及び助成制度を拡充したことにより、結果として不妊治療助成制度が広く周知された。			

保健福祉センター維持管理事業

[22]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0501	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	市民参加による健康づくりの推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	保健福祉センターの施設・設備	<保健福祉センターの概要> 1階：健康課事務室、社会福祉協議会、地域包括支援センター 2階：健診会場 3階：障がい者デイサービスセンター、調理室、子育て支援室、こども・子育て相談、こどもの発達センター 4階：健康づくりフロア、シアタールーム、子育て支援センター 施設：危険及び故障箇所の修繕・営繕工事 設備：維持管理(委託による保守点検)の実施及び故障箇所の修繕
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
市民の健康増進環境に適し、安全かつ安心して保健活動等が行えるよう施設・設備が適切に維持管理されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 営繕工事施行件数	件	23	25	20	23	
	B 維持管理(保守点検等)実施件数	件	10	11	11	11	
成果指標	C 施設設備維持管理上の重大なトラブル件数	件	0	0	0	0	
	D						
事業費 計			22,363	25,983	23,007	25,801	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		342	67	71	53
		オ 一般		22,021	25,916	22,936	25,748

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 活動指標C「施設維持管理上の重大なトラブルの件数」は発生していない。 (原因) 施設の維持管理が適切にできていると考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

健康ボランティア育成事業

[23]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0502	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	市民参加による健康づくりの推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民ボランティア団体	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	市民と行政の協働による健康関連事業が効果的かつ効率的に出来るよう、ボランティア団体に対しフォローアップ研修や打合せ会を実施。事業におけるボランティアの役割等を明確にした上で、健康づくり・保健事業を協働実施していく。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			
	ボランティアに市民の見本となってもらったり、支援をしてもらうことで健康づくり等に取り組む市民が増えている。			<p><市民ボランティア団体と協働実施している健康関連事業></p> <p>栄養関連の健康づくり教室：健康づくり食生活改善協議会 筋トレ関連の健康づくり教室：健康づくり推進委員会 離乳食教室の託児：子育て託児ボランティア ブックスタート事業：ブックスタートボランティア 定例ウォーキング：健康づくり推進委員会 尾張旭市健康まつり：健康づくり食生活改善協議会、健康づくり推進委員会、あづま会、地域婦人団体連絡協議会、市民ボランティア *事業費については、各事業で計上する</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 保健事業に関わるボランティア人数	人	252	269	300	0
	B					
成果指標	C 保健事業におけるボランティア活動従事者数	人		149	140	132
	D 保健事業に関わるボランティア1人あたりの市民数	人		561	610	646
事業費 計			64			
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他		31		
		オ 一般		33		

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり	<p>(状況)活動に従事するボランティア数が減っているため、一人当たりの市民数が増加したこととなっている。</p> <p>(原因)成果指標C「保健事業におけるボランティア活動従事者数」が減少しているのは新型コロナウイルス感染症の拡大により各事業に従事するボランティアは依頼を見合わせているためである。またそれに伴い、成果指標D「保健事業に関わるボランティア1人あたりの市民数」が増加する結果となっている。今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、依頼を考慮していく。</p>
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

健康あさひ21計画推進事業

[24]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0901	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民、団体、地域等	手段(事務事業の内容、やり方、手順) 市民が健康づくりの主役となり、市民、各種団体、行政が協働して健康づくりに取り組む姿をめざした尾張旭市の健康増進計画(現在は第2次計画)。平成25年度から平成26年度の2か年で、第1次計画の最終評価及び「第2次健康あさひ21計画」(計画期間：H27～R6年度)を策定。 令和元年度から令和2年度の2か年で、中間評価及び見直しを行う。 令和元年度：中間評価(検証)のための市民アンケート調査を実施 令和2年度：検証結果を踏まえた中間見直し改定版を作成
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	市民、団体、地域等がそれぞれの役割に基づいて掲げた計画目標が達成されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 各種会議の延べ開催日数	日	0	1	6	5
	B 各種会議への延べ参加者数(アンケート回答含)	人	0	1,631	160	96
成果指標	C 健康あさひ21指標の目標達成率	%	75	59.1	80	59.1
	D					
事業費 計				2,795	2,860	2,860
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		2,795	2,860	2,860

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	R1年度に市民アンケートを実施し、目標達成率は59.1%であった。また、市民アンケートに基づいて中間評価を実施し、R2年度に中間見直し版を策定した。
--------	--	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

禁煙推進事業

[1241]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0902	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 意図(対象をどのような状態にしたいのか) ・公共施設での望まない受動喫煙を防止できている。 ・市民の禁煙を支援し、喫煙者が減少している。	平成30年度に「尾張旭市における禁煙・分煙の方針、取組」の見直しを行い、新たに策定した「尾張旭市公共施設における受動喫煙防止対策ガイドライン」に基づいた取組を実施 <基本方針> 1 受動喫煙による健康被害をなくします ・第一種施設については「敷地内禁煙」とする ・第一種施設以外の市有施設及び市管理施設については「建物内禁煙」とするが、可能な限り「敷地内禁煙」を目指す ・市有及び市管理の屋外空間については「禁煙推進」とする 2 喫煙マナーを徹底します ・公共施設等にマナーアップに係るポスターを掲示 ・広報やホームページに、マナーやモラル向上に関する記事を掲載 3 禁煙を支援します ・禁煙外来治療費助成事業を継続 ・禁煙に関する出前講座の実施 ・禁煙相談窓口、禁煙治療協力医療機関の紹介 ・禁煙に係るポスターを医療機関等に掲示 4 たばこを吸わない人を育てます ・未成年者に対する喫煙防止教育の推進 ・たばこの健康影響に関する子ども向けのポスターを掲示

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 禁煙外来治療費助成事前届出者数	人	45	31	40	51	
	B 禁煙及びマナーアップに関する周知回数			5	5	2	
成果指標	C 全面禁煙を実施している施設数	か所	128	173	100	168	
	D 禁煙外来治療成功者数(当該年度末の助成金申請者数)	人	22	19	20	26	
事業費 計			199	200	411	263	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	199	200	411	263

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	<状況> 成果指標Dは向上、成果指標Cは低下。 <原因> 新型コロナウイルス感染症等疾病との関係とたばこ価格の値上がりもあり、市民の禁煙に対する意識が高くなったことが考えられる。成果指標Cの低下は、禁煙対策内容別に掲げる対象施設の表示名を見直したことによるもの。
--------	---	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

健康課庶務事務

[938]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	99-0406	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	課の庶務事務 課職員	健康課における主な庶務事務 文書の処理(200時間) 庁内外の文書調査報告(50時間) 行政評価の管理(120時間) 郵便物の発送(60時間) 課内の備品・消耗品の調達・管理(6時間) 課内関係書類整理(120時間) 保有パソコンの管理(3時間) 時間外勤務・出張命令の整理(12時間) 財務会計事務(210時間) 予算・決算に関する事務(224時間) 補助金事務(県費)(210時間) 互助会に関する事務(5時間) 施設管理(20時間) 施設契約事務(34時間) 施設の修繕(6時間) 備品の修繕(4時間) 備品台帳の整理・管理(3時間) 公用車の管理(3時間) 委託業務(56時間) 駐車場整理(6時間) 21_市町村保健師協議会等運営負担金を交付(10時間) 庶務事務の内容に大幅は変更はないが、補助金申請、行政評価、健診事務等業務内容によっては、一時的に事務量が集中することがある。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	・健康課の庶務的な事務が正確かつ円滑に進んでいる。 ・庶務事務の課内の事業が円滑に進んでいる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A						
	B						
	C						
	D						
成果指標・事業費	事業費 計			6,713	7,120	5,691	4,947
	財源内訳	ア 国	千円			242	
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		66	67	66	53
		オ 一般		6,647	7,053	5,383	4,894

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定